

No.	施設名	概要	建築年	住所	開館時間	休館日	電話	FAX	使用料	アクセス	駐車場	公衆無線LAN(Wi-Fi)
1	町家交流館高田小町	町家交流館高田小町は、明治時代に建築された町家「旧小妻屋」を再生・活用した交流施設です。高田の町家の特徴である吹抜けや土蔵を見学できます。 入館や内部見学は無料ですので、城下町高田のまちなか散策の休憩・案内所としてご利用ください(催事によって、一部見学できない場合がありますのでご了承ください)。	明治時代(平成19年改築)	上越市本町6丁目3番4号	午前9時～午後10時(広場は全日) 注 4月～11月の貸館がない日は、午前9時～午後7時 12月～翌年3月の貸館がない日は、午前9時～午後6時 詳しくは、お問い合わせください。	第4月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	025-526-8103	025-526-8104	ギャラリー1:290円、ギャラリー2:180円、交流サロン:180円、和室1:150円、和室2:180円、多目的ホール:520円 ※上記は1時間あたりの使用料です。ただし、利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算します。なお、見学の場合は無料です。 ※営利または営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額となります。 ※市内に住所を有しない個人や事務所等を有しない団体の使用料は、定額使用料の200パーセントの額となります。	電車:えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「高田駅」より徒歩約10分 路線バス:頭城バス「本町6丁目」下車徒歩約3分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	無料 第1駐車場:7台(うち1台は身体障害者専用) 第2駐車場:20台(大型バス優先区画有) 第3駐車場:6台(マイクロバス優先駐車場) ※積雪状況により、第1駐車場及び第3駐車場は、閉鎖する場合があります。	無
2	旧師団長官舎	旧師団長官舎は、明治43年(1910年)、旧日本陸軍高田第13師団長、長岡外史中将によって建てられたもので、市内に残る数少ない明治期の和洋折衷の木造建築物です。 平成3年(1991年)までは自衛隊高田駐屯地の幹部宿舎として使われていましたが、明治の貴重な洋風建築保存のため、市が移築、復原したものです。 建物の保存と更なる利活用を図るため進めてきた改修工事が令和3年3月に完了し、これまでの建物見学に加えて、建物の趣をいかしつつ、民間事業者によるレストランとしても利活用しています。 上越市文化財(平成6年1月指定)	明治43年(平成5年移築、復原)	上越市大町2丁目3番30号	午前10時～午後5時	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	025-526-5903	-	入館無料 (ただし、館内のレストラン「エリス」の営業時間や予約などについては、事前に要確認)	電車:えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「高田駅」より徒歩約20分 路線バス:頭城バス「大手町」下車徒歩約5分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約10分	無料、14台	有
3	旧金津憲太郎桶店	旧金津憲太郎桶店は、江戸時代末期に建てられた町家で、桶職人の仕事場や土間のかまどをはじめ、懐かしい暮らしの道具がたくさん残っています。 茶の間の吹き抜け、急な階段など見所も凝縮されています。新潟県立歴史博物館に標準的な高田の町家として模型が飾られているほど、貴重な現存建物です。	江戸時代末期	上越市仲町4丁目6番7号	令和6年能登半島地震の影響により、公開を中止しています。		025-520-5629 (文化振興課)	025-520-5853 (文化振興課)		電車:えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「高田駅」より徒歩約5分 路線バス:頭城バス「高田駅前」下車徒歩約3分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	専用駐車場はありません。高田駅前立体駐輪駐車場(仲町4丁目481番地7)をご利用ください。(徒歩5分) 有料:49台(冬期間32台) 24時間利用可能。最初の30分無料、その後30分毎に100円。	無
4	旧今井染物屋	旧今井染物屋は、江戸時代末期に建てられた高田を代表する町家建築であり、高田に現存している最古の町家建築の一つです。 建物の特徴としては、棟が低く、屋根の傾斜が緩やかなところが建設当時の町家の形態をよく表しており、雁木の形式は、古い形式の「造り込み式」となっています。 建築当初の形態をよく残している建物で、染物屋だった頃の様子がわかる貴重な建物とされています。 建物の保存と更なる利活用を図るため実施した耐震改修工事が令和3年4月に完了し、バテンレースを基軸とした常設工房を設置するとともに、地域文化の継承と発信の拠点として利活用されています。 上越市文化財(令和元年8月指定)	江戸時代末期	上越市大町5丁目5番7号	午前10時～午後5時	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	025-520-9788	025-520-9788	入館無料	電車:えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「高田駅」より徒歩約10分 路線バス:頭城バス「本町6丁目」下車徒歩約5分 車:北陸自動車道「上越IC」より約15分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	無料、19台(うち1台は身体障害者専用)	有
5	ライオン像のある館 (旧直江津銀行)	ライオン像のある館(旧直江津銀行)は、明治28年(1895年)、「直江津積塵(せきじん)銀行」の名称で発足し、明治期の直江津の商工業を支えました。銀行は大正4年に解散となりましたが、海運業を営む高橋達太が銀行の建物を取得し、大正9年に現在の場所に移築。回漕店の社屋として使用されていました。 建物の前の迫力に満ちたライオン像は、高橋達太の要請により、柏崎市の小川由廣が制作したものです。 上越市最古の擬洋風建築物である「ライオン像のある館」の煉瓦塀は、火災が多かった直江津の歴史を物語っています。また、施設の一部に使用されている笏谷石は、「北前船」で運ばれてきたと言われており、港町として発展してきたまちの歴史が感じられます。(「旧直江津銀行」は、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財です。) 上越市文化財(平成31年3月指定)	明治28年(大正9年、現在の場所に移築)	上越市中央3丁目7番31号	午前10時～午後5時 (三八朝市開催日は、午前9時～午後5時、ホールは午前9時から午後10時まで、貸館での利用ができます。)	開館日は、4月から11月までの間の日曜日、土曜日及び休日 詳しくは、お問い合わせください。	025-544-6238	025-544-6238	入館無料	電車:えちごトキめき鉄道・JR信越本線「直江津駅」より徒歩約20分 路線バス:頭城バス「中央2丁目」下車徒歩約5分 車:北陸自動車道「上越IC」より約10分、上信越自動車道「上越高田IC」より約25分	専用駐車場はありません。船見公園駐車場をご利用ください。(徒歩約1分) 無料、170台	無
6	高田まちかど交流館 (旧第四銀行高田支店)	高田まちかど交流館(旧第四銀行高田支店)は、昭和6年(1931年)に百三十九銀行本店として建てられた、当時では珍しい鉄筋コンクリート造の建物です。 ホールは、貸館としてイベント等に利用できるほか、貸館がない場合には、無料で見学・休憩ができます。 展示室では、建物の特徴や銀行の歴史、建築当時の高田のまちの歴史などを知ることができます。 上越市文化財(平成31年3月指定)	昭和6年建築、昭和40年増築	上越市本町3丁目3番2号	午前9時～午後6時 (ホールは午後10時まで、貸館での利用ができます)	第2水曜日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	025-526-6903	025-520-5853 (文化振興課)	ホール:390円、ボータブルステージ(一式):210円、音響設備(一式):230円 ※上記は1時間あたりの使用料です。ただし、利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算します。なお、見学の場合は無料です。 ※営利または営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額となります。 ※市内に住所を有しない個人や事務所等を有しない団体の使用料は、定額使用料の200パーセントの額となります。	電車:えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「高田」より徒歩約15分 路線バス:頭城バス「本町3丁目」下車徒歩約1分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	専用駐車場はありません。車でお越しの方は、高田まちかど交流館に隣接する本町3丁目西側駐車場(有料)や本町3丁目東側駐車場(有料)をご利用ください。	無 有 (令和6年9月30日まで終了)

No.	施設名	概要	建築年	住所	開館時間	休館日	電話	FAX	使用料	アクセス	駐車場	公衆無線LAN(Wi-Fi)
7	上越文化会館	上越文化会館は、市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図る目的で昭和53年5月に設置しました。1,504席の大ホールと170席の中ホール、大・中・小会議室を備える上越市を代表する文化ホールです。毎年様々なジャンルの公演を企画・実施しているほか、芸能祭や発表会など市民の文化・芸術活動の発表の場としても親しまれています。	昭和53年	上越市新光町1丁目9番10号	午前9時～午後10時 (受付時間：午前9時～午後5時)	第1、第3月曜日(休日の場合はその翌日) 12月29日から翌年1月3日まで	025-525-4103	025-525-4105	○大ホール(1,504席(1,105平方メートル))利用料金：平日午前(9時～12時)25,670円・午後(13時～17時)42,780円・夜間(18時～22時)61,120円・全日119,780円、土日祝日午前33,620円・午後55,620円・夜間79,450円・全日155,840円 ○大ホール附属設備利用料金(使用回数は、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで、及び午後6時から午後10時までをそれぞれ1回とする)：舞台：所作台(1枚)310円、松・竹羽目(一式)1,740円、開丁場(1台)170円、平台(90cm×180cm、1枚)210円、平台(120cm×180cm、1枚)260円、平台(90cm×270cm、1枚)310円、箱足(1脚)80円、開き足(1脚)80円、金屏風(半双)950円、大太鼓(一式)840円、緋毛せん(1枚)410円、長座布団(1枚)170円、座布団(1枚)110円、上敷(1本)460円、パレエ用マット(1枚)510円、演壇(一式)950円、司会者壇(1台)460円、指揮者壇(一式)340円、奏者用譜面台(小、1台)70円、奏者用譜面台(大、1台)110円、ピアノ椅子(1脚)160円、コントラバス椅子(1脚)160円、絞り緞帳(1張)620円、映写スクリーン(一式)1,330円、吊り物ハトン(1本)260円、大迫り(一式)2,040円、オーケストラ追上げ装置(一式)4,080円、音響反射板(一式)4,890円、姿見鏡(1台)460円、浴室(1室)1,230円、長机(1台)160円、パイプ椅子(1脚)70円、音響：舞台音響セットA(一式)5,100円、舞台音響セットB(一式)7,640円、ステージスピーカー(1台)1,330円、はねかえりスピーカー(1台)1,020円、ダイナミックマイク(1本)680円、コンデンサーマイク(1本)1,230円、マイクスタンド(1本)260円、三点吊りマイク装置(一式)680円、エレベーターマイク(1基)1,840円、ワイヤレスマイク送受信装置(1ch)2,040円、カセット・CD・MD・プレーヤー(1台)1,230円、サブミキサー(1台)2,450円、照明：舞台照明Aセット(一式)11,210円、舞台照明Bセット(一式)16,810円、スポットライト・500W(1台)310円、スポットライト・1KW(1台)370円、エリスポットライト(1台)410円、ハイスタンド(1台)230円、パイプスタンド(1台)140円、ストリップライト・12灯(1本)340円、スリップライト・8灯(1本)260円、プロセニウムサスペンションライト(1列)1,330円、花道用フットライト(1列)620円、アッパバー・ローアホリゾンライト(1列)1,330円、ミラーボール(1台)1,230円、エフェクトスポットライト・1KW(1台)410円、エフェクトスポットライト・2KW(1台)620円、スパイラルマシン(1台)1,230円、フィルムマシン(1台)1,230円、ディスクマシン(1台)1,230円、カレードマシン(1台)1,230円、プリズムマシン(1台)1,230円、フリッカマシン(1台)1,230円、波マシン(1台)680円、スライドキャリアマスク(1台)410円、先玉(1個)140円、多眼レンズ(1台)130円、種板(1板)270円、ストロボ(一式)1,230円、クセノンピンスポットライト(1台)1,740円、ハロゲンピンスポットライト(1台)1,130円、その他：フルコンサートピアノ・スタンウェイ(1台)10,190円、フルコンサートピアノ・ヤマハCF(1台)4,080円、アツブライトピアノ(1台)1,330円、ビデオプロジェクター(1台)3,060円、オーバーヘッドプロジェクター(1台)720円、移動スクリーン(一式)460円、テレビ放送用持込設備(一式)30,560円、ラジオ放送用持込設備(一式)6,120円、拡声装置持込機器(1W)10円、その他持込機器(1KW)260円、物品販売用机(長机、1台)310円 ○中ホール(170席158平方メートル)使用料金：平日午前(9時～12時)6,730円・午後(13時～17時)9,780円・夜間(18時～22時)13,450円・全日27,500円、土日祝日午前9,170円・午後12,840円・夜間17,730円・全日36,670円 ○中ホール附属設備利用料金(使用回数は、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで、及び午後6時から午後10時までをそれぞれ1回とする)：拡声装置(一式)2,040円、カセット・CDプレーヤー(1台)1,230円、ダイナミックマイク(1本)680円、ワイヤレスマイク送受信機(1ch)2,040円、マイクスタンド(1本)260円、平台(90cm×180cm、1枚)210円、箱足(1脚)80円、奏者用譜面台(小、1台)70円、奏者用譜面台(大、1台)110円、ピアノ椅子(1脚)160円、フルコンサートピアノ・ヤマハCF(1台)4,080円、姿見鏡(1台)460円 ○第1楽屋(16名)利用料金：午前(9時～12時)1,230円・午後(13時～17時)1,740円・夜間(18時～22時)1,740円・全日4,280円 ○第2楽屋(10名)利用料金：午前(9時～12時)920円・午後(13時～17時)1,430円・夜間(18時～22時)1,430円・全日3,370円 ○第3楽屋(和室・8名)利用料金：午前(9時～12時)820円・午後(13時～17時)1,020円・夜間(18時～22時)1,020円・全日2,450円 ○第4楽屋(和室・8名)利用料金：午前(9時～12時)720円・午後(13時～17時)920円・夜間(18時～22時)920円・全日2,140円 ○第5楽屋(8名)利用料金：午前(9時～12時)720円・午後(13時～17時)920円・夜間(18時～22時)920円・全日2,140円 ○リハーサル室(兼楽屋・32名)利用料金：午前(9時～12時)2,350円・午後(13時～17時)3,470円・夜間(18時～22時)3,470円・全日8,360円 ○楽屋事務室(4名)利用料金：午前(9時～12時)820円・午後(13時～17時)1,020円・夜間(18時～22時)1,020円・全日2,450円 ○大会議室(81名)利用料金：午前(9時～12時)6,320円・午後(13時～17時)8,250円・夜間(18時～22時)8,250円・全日20,780円 ○大会議室附属設備利用料金(使用回数は、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで、及び午後6時から午後10時までをそれぞれ1回とする)：卓上アンプ(1基)620円、映写スクリーン(一式)460円、ワイヤレスマイク送受信装置(1ch)2,040円、ダイナミックマイク(1本)680円、マイクスタンド(1本)260円 ○中会議室(24名)利用料金：午前(9時～12時)3,570円・午後(13時～17時)4,690円・夜間(18時～22時)4,690円・全日11,820円	電車：えちごトキめき鉄道・妙高はねうまライン「春日山駅」より徒歩約4分 路線バス：頸城バス「市役所」下車徒歩約5分 車：北陸自動車道「上越IC」より約5分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	無料、252台(うち7台は身体障害者専用)	無 有 (令和6年9月30日まで 終了)

No.	施設名	概要	建築年	住所	開館時間	休館日	電話	FAX	使用料	アクセス	駐車場	公衆無線LAN(Wi-Fi)
									○小会議室(16名)利用料金:午前(9時～12時)2,140円・午後(13時～17時)2,750円・夜間(18時～22時)2,750円・全日6,930円 ○和室(54名)利用料金:午前(9時～12時)3,370円・午後(13時～17時)4,280円・夜間(18時～22時)4,280円・全日11,000円 ○その他附属設備利用料金(使用回数は、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで、及び午後6時から午後10時までをそれぞれ1回とする):ビデオプロジェクター(1台)3,060円、オーバーヘッドプロジェクター(1台)720円、移動スクリーン(一式)460円、テレビ放送用持込設備(一式)30,560円、ラジオ放送用持込設備(一式)6,120円、拡声装置持込機器(1W)10円、その他持込機器(1KW)260円、長机(1台)160円、パイプ椅子(1脚)70円、物品販売用机(長机、1台) ○広場(4,000平方メートル)利用料金:行商その他これらに関するもの1日・1平方メートル50円、業として行う写真撮影1日110円、業として行う映画撮影1時間3,060円、興行1日1平方メートル20円、集会・展示会・その他これらに類する催し1日1平方メートル10円 ※営利または営業上の目的で使用する場合は、利用料金の50%増に相当する額。夏期(6月15日から9月30日まで)と冬期(11月15日から4月15日まで)の利用料は30%増に相当する額。大ホールを準備または練習のために使用する場合は、利用料金の70%に相当する額。サークル活動や趣味の会などの練習で大ホールの舞台だけを使用する場合は、利用料金の14%に相当する額。(但し、受付は2ヶ月前より)			
8	ミュゼ雪小町	ミュゼ雪小町は、高田駅から徒歩4分ほどの本町5丁目、あすとびあ高田5階にある文化交流施設です。この施設は、文化活動の発表・展示、各種美術展示会として利用できるギャラリーA・B・Cがあり、附属設備として展示ケース、可動式パネルを利用することで、絵画、書、写真等の幅広い分野の作品展示ができるほか、創作活動、会議、講習会などで利用できる多目的室1・2があります。	平成25年	上越市本町5丁目4番5号 あすとびあ高田5階	午前9時～午後10時	第3月曜日(休日の場合は翌日)年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	025-521-4025	025-521-4026	ギャラリーA(94.75平方メートル) 使用料:1時間580円、ギャラリーB(88.82平方メートル) 使用料:1時間540円、ギャラリーC(82.71平方メートル) 使用料:1時間510円、多目的室1(64.87平方メートル)使用料:1時間530円、多目的室2(61.27平方メートル)使用料:1時間460円、エントランス(屋内共用スペース、53.00平方メートル)使用料:1時間350円、附属設備:可動式パネル:ギャラリーA・B・C使用料:1室1回250円、展示ケース(ギャラリーC) 使用料:1時間150円、照明器具 使用料:1台1回10円 ※営利又は営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額です。 ※市内に住所を有しない個人又は市内に事務所等を有しない団体が利用する場合は、定額使用料の200パーセントの額です。 ※利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算します。	電車:えちごトキめき鉄道・妙高はなうまライン「高田駅」より徒歩約4分 路線バス:くびき野バス「本町五丁目」下車徒歩約2分、「高田駅前」下車徒歩約4分、頸城バス「本町五丁目」下車徒歩約2分、「高田駅前」下車徒歩約4分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	フレンドパーク あすとびあ高田駐車場 1時間無料:受付窓口に駐車券をお持ちください。 利用時間:24時間 料金:30分100円 台数:85台	無
9	小川未明文学館	小川未明は、新潟県上越市出身の小説家・童話作家です。早稲田大学学生時代に坪内逍遙やラファディオ・ハーンらの指導を受け、小説家としての地位を築きました。その後数多くの童話を創作し、児童文学の近代化、地位の向上に貢献しました。代表作には「赤い蠟燭と人魚」、「野ばら」などがあります。小川未明文学館では、小川未明の業績と作品はもとより、生い立ち、作品が生まれた時代背景、人間性などをわかりやすくご紹介するとともに、日本近代童話の父小川未明を中心に近代文学の資料を収集し、その研究・公開を行っています。	平成17年	上越市本城町8番30号(高田図書館内)	午前10時から午後6時	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、第3木曜日(館内整理のため)、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、高田図書館の休館日と同期間	025-523-1083	025-523-1086	●小川未明文学館:内部見学無料 ●市民ギャラリー:小川未明文学館では、ギャラリーの貸し出しを行っておりです。絵画、写真、工芸の展示や、作品発表の場などに広くご利用いただけます。 面積:123平方メートル 貸出時間=小川未明文学館の開館時間と同様。(搬入・搬出作業は開館時間内をお願いします) 使用料=1時間につき930円 ※営利または営利上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額とします。 ※市内に住所を有しない個人または市内に事務所等を有しない団体が利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額とします。 ※利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算します。	電車:えちごトキめき鉄道「高田駅」より徒歩約30分、車で約10分 路線バス:頸城バス「高田城址公園入」徒歩約5分、「大手町十字路口」下車徒歩約10分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分、上信越自動車道「上越高田IC」より約15分	高田図書館駐車場(44台・無料)をご利用ください。	無
10	坂口記念館	「酒博士」として知られる坂口謹一郎博士の業績と酒造り文化を紹介する「酒杜り館」、重厚な造りで、囲炉裏のある博士の書斎を再現した「楽縫庵」、博士の愛した雪椿を植栽した「雪椿園」、文化人・蔵人との交流空間であった「留春亭」の4つから構成される文化施設です。楽縫庵の和室は一般に貸し出していますので、様々な用途にご利用いただけます。	平成11年	上越市頸城区鶴ノ木148	午前10時～午後4時	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、12月28日から翌年1月4日まで ※12月～2月は冬期休館あり	025-530-3100	025-539-2161	入館料:一般310円(団体15人以上の場合は1人につき230円)、中学生以下無料 楽縫庵和室使用料:1部屋1時間170円 ※営利又は営業上の目的で利用する場合の使用料は、定額使用料の200パーセントの額となります。 ※利用時間が1時間に満たないときは、1時間として計算します。 ※飲食を伴う利用をする場合の使用料は、利用者1人につき170円を加算した額とします。	電車:越後トキめき鉄道・妙高はなうまライン「直江津駅」より車約20分 車:北陸自動車道「上越IC」より約20分	無料、20台程度(冬期間:15台程度)	無